



つゆにちは

香長中3年生の岡林千代さん。「郷土に残り、郷土を興そう」の懸賞標語でNHK高知放送局長賞を受賞。「若者のその手で興そう土佐の土」が入賞作品。

「たくさん若い人が都会に出ていく現在、できるだけ郷土に残りこの土佐を盛りあげて行こう」と語る岡林さんは読書が大好きで、現在は作文クラブに参加している。

入賞を知った時は——。「まさかと思ってなかなか信じられなかった。表彰の日には朝早くから目がさめて——」と語る顔にはうれしさがいっぱい。

「こんな機会があればまた応募したいと思っています」と意欲満々。これからもがんばってください。

入賞おめでとう。

バスケットボール

市中学校生徒文集「れいなん」74・8号より

昭和四十九年度の県総合体育大会に香長中バスケット部は出場することができた。毎年出ているのであたりまえのように考えているが、これまで先輩の力、努力などによって今年も出場できたと思う。ぼくは、昨年入学当時友だちといっしょに部室へ行った。その時からはいったのだ。

はいる前の甘い考えとはちがいでとても厳しい練習が続く、いくともやめようと思った。

しかしぼくは、バスケットというすばらしいスポーツから離れることができなくなり現在にいたっている。

桜が咲き学生服に着られている



松崎恵子(上末松)十歳

その考えはまちがっていた。昨年の県春季大会の時、附属中とやり、かなりの差で負けてしまった。この時ぼくは、「先輩があんなに負けるなんて。」と強く反省させられた。

ぼくはなるべく練習は、休んではいけないし、休まないことと自分で確認している。けれどなぜかやる気になれず、一学期は何回か休んでしまった。

夏休みにはいったころから三年生は退いて、主に二年、一年でやってくるようになった。しかしチームとしてのまとまりがたりず、秋季大会も負けてしまった。不思議なことに、このころから少しずつまとまりができて冬の寒い空気のなかで基礎練習を運動場でみっちりやってきた。寒い北風の中で練習をした。手が寒さによってきかな

全員がやって勝利をあげるものだから、そのためにはまず練習を大切にしたい。チームワークを育ててゆきたいと思う。

ぼくは、バスケットを始めて勉強の方も充実してきたように思う。バスケットの試合を見ていると、ぼくもやらなければならぬと、自分の立場について考えることがある。もうこれから二年生中心でやってゆき、まとまってやっていくかなければならない。そしてバスケットというすばらしいスポーツを思いっきりやってゆきたいと思う。ぼくは、このスポーツが大好きだ。追力があるか、技術があるか、バスケットをなくしては、ぼくの生活はあり得ないように思う。まだ、へたくそで、どうにもならないけれど、必ず全力を出して試合にぶつかっていききたい。ぼくはバスケットボールに感謝

くなったあの時の練習がはくにとって良かったと思う。

このような練習を積み重ねてやっていると、新人戦の日が近づいてきた。この日のみんなの目はちがっていた。「こんどこそは」目が語っていた。

一回戦、二回戦とみごとに勝ちぬき三回戦へと進んだのである。三回戦は附属中との対戦で前半はリードしていた。しかし後半は逆転せられ六点半で終わった。ぼくは大変残念だった。しかし三回戦へ進んだ努力はすばらしいものがあったように思う。

こうして今年の春季大会、県総合体育大会と良い成績を残すことができた。

ぼくは、今までやってきてくれた先輩に感謝の気持ちでいっぱい。バスケットボールは一人でやるものじゃない。五人いやクラブ員

香長中二年 高島勉

島崎秀典くん(能間)

あなたの日頃

■今月号の学校のめぐりで久しぶりに母校の発展ぶりを見てうれしく思いました。これからも南園市のいろいろなニュースをのせて下さい。【岡田幸晴 中沢由美子】二十歳 主婦

■毎月の広報、ありがたうございます。中学一年の子ども、主人共ども、たのしく色いろのことを話しながら、市内のできごとなどおしえられ、家内一同うれしく思っています。【前浜 大野富貴子】四十六歳 主婦

学校めぐり

★北陵中学校★

ぼくたちの北陵中学校の生徒数は、二百七十三名です。全校生徒は「自主的、積極的な生活態度の育成」という学校の生徒指導方針に基づいて、生徒会活動を活発にしようとして努力しています。

生徒会の中には、六つの専門部を置いています。水泳大会、クラスマッチ、体育祭などの体育的行事の運営には保健部があたり、金生部も楽しく行事ができるように保健部に協力し努力しています。

校刊誌の「のびゆく友」、学校新聞「北陵タイムス」の発行、読書感想文コンクールなどの文化的行事は、文化部が受け持ちます。その他、美術部、規律部、学習部、生活部と、全員がどれかの部には入り、毎週月曜日には代表委員会、専門部長会、専門部会(二回)を開いて楽しい学校生活ができるよう検討しています。

また、サッカー、バレー、バスケット、ソフト、昨年新設の剣道部、本年新設の卓球部など、九つある部の活動もさかんで、それぞれ、毎日練習にはげんでいます。なかでもサッカー部の活躍はすばらしく、昨年は全国大会に、本年は四国大会に出場しました。

島崎秀典くん(能間)

第四十六回の正解発表

■こたえ

市は四十九年度の一一般会計予算で(億)千九百(決算見込み)の赤字を出した。

■特賞・二千円、藤村久子(下野田) 島崎秀典(能間)

■残念賞・坂野正明(片山) 山岡明子(南小笠) 門田幸俊(植田) 竹村加代子(岡田町)

■賞ノ川 浜口直美(立田) 浜口英子(浜改田) 野村正明(物部) 佃美智子(藤原) 森田安雄(浜改田) 山本高行(岡田町) 町笠ノ川

おめでとうございました。これからもしつとご応募ください。



間城綾さん S 49・8・27生

前浜 2266 孝子さん長女

服部佐織さん S 49・7・11生

比江 284 洋子さん次女

野村匡くん S 48・9・23生

大埔甲 1640 貴美さん長男

広沢満希子さん S 49・3・8生

稲生 1844の2 さつ子さん長女

森恵子さん S 48・9・25生

片山 838の3 真依子さん長女

